



第 53 回 J A R L 青森県支部大会 & ハムのつどい



<大会プログラム>

日時： 2025 年 9 月 28 日（日） 10:00～15:50

会場： 泉野多目的コミュニティ施設

主 催

一般社団法人日本アマチュア無線連盟 青森県支部

主 管

第 53 回 JARL 青森県支部大会 & ハムのつどい実行委員会

～ ご来場の皆様へお願い ～

【上履き（スリッパ）について】

会場内は土足厳禁です。玄関にて施設のスリッパに履き替えて頂くよう、お願いいたします。その際、靴箱は使用せずに（他団体も使用するため、管理者より指示を受けています）、お配りしている袋に外履きを入れて会場内に持ち込んでいただきますよう、お願いいたします。お渡しした袋は回収しておりますので、各自にて処分頂きますよう、お願いいたします。

【館内禁煙について】

館内は電子タバコを含め禁煙となっております。喫煙は屋外の指定場所のみ可能ですのでご了承ください。

【昼食・館内飲食について】

本日、一般来場者の方に向けた昼食の準備はございません。近隣にスーパーや弁当店等、多数飲食店がございますので、各自ご利用ください。なお、会場（多目的ホール）内の飲食は可能ですが、会場（多目的ホール）外は他の団体も利用する場合がございますので、可能な限り会場（多目的ホール）内の椅子の設置している場所でお召し上がりいただきますよう、お願いいたします。なお、会場内で出たごみは各自お持ち帰りくださいますよう、ご協力をお願いいたします。

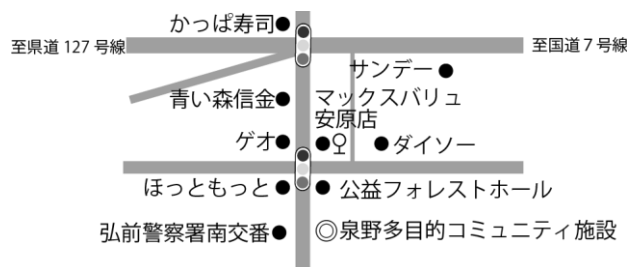
【お帰りのバスについて】

弘前駅方面にバスでお帰りの方にご案内です。当会場近くの「マックスバリュ安原（やすはら）店」より弘前駅城東口方面へ路線バスが出ております。マックスバリュ安原店から弘前駅城東口までの所要時間は約20分です。出発時刻を下記に掲載いたしますが、ご利用になられる前に各自ご確認を頂きますよう、お願い申し上げます。主催者はバス停の位置や出発時刻等の誤り等によりご乗車いただけなかったことに起因する損害は一切負いかねますので、予めご了承ください。

●弘南バス 城東安原線 さくら野弘前店前行き （約20分：250円、交通IC利用可）

<マックスバリュ安原店バス停出発時刻>

11:10 13:10 15:10 17:10



マックスバリュ安原店バス停の場所は、マックスバリュ店舗のダイソー側となります。

目 次

ごあいさつ	第53回 JARL 青森県支部大会 & ハムのつどい実行委員会		
	実行委員長 安齋 三津夫(JA7CUA)	4	ページ
	一般社団法人日本アマチュア無線連盟(JARL)		
	青森県支部長 岡田 竜也(JQ7ATB)	5	ページ
	一般社団法人日本アマチュア無線連盟(JARL)		
	会 長 森田 耕司(JA5SUD)	6	ページ
	一般社団法人日本アマチュア無線連盟(JARL)		
	東北地方本部長 槻木澤 稔(JR7JAW)	7	ページ
ご 祝 辞	一般社団法人日本アマチュア無線連盟(JARL)		
	渡島檜山支部長 佐々木 朗(JH8CBH)様	8	ページ
	弘 前 市 長 櫻 田 宏 様	9	ページ
支 部 大 会 プ ロ グ ラ ム		10	ページ
会 場 案 内 図		11	ページ
開 場 配 置 図		12	ページ
協 賛 ・ 協 力 者 一 覧		13	ページ

ごあいさつ

第53回JARL青森県支部大会&ハムの集い実行委員会

実行委員長 安齋 三津男(JA7CUA)

支部大会も53回目になりましたが、ご覧の通り、今回はこれまでで、もっとも質素な大会になろうかと思われます。と言うのは、確かにアマチュア無線の世界も、ご多分に漏れず“高齢化”が進んでおり、そして近年、JARL会員の減少もかなりのスピードで進んで来て、従って、地方組織に配分される年間の予算も限られて来ました。

従って、これまでのように、会場費が“大会予算の約四割”を占めていれば、運営が成り立ちません。そのところをご理解下さい。

さて、そんな中、今回は各方面のご協力により、何とか開催する事が出来ましたが、会員の皆様には、何とかして仲間を増やそうではありませんか。

そして“会員増強”に是非ご協力をよろしくお願い致します。

JARLは来年、創立100年を迎えるとの事。皆さんで応援しましょう。

それでは、本日、ごゆっくりお楽しみ下さい。

ごあいさつ

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
青森県支部長 岡田 竜也(JQ7ATB)

青森県内にて活動しておられますアマチュア無線家の皆様には日ごろより当連盟(JARL)及び JARL 青森県支部運営へのご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、本日「第 53 回 JARL 青森県支部大会 & ハムのつどい」をこの弘前市にて無事開催することができました。これも大会準備を進めてくださいました支部大会実行委員会の皆様、そして本日設営並びに運営に携わってくださいました、JARL 弘前クラブ、CQ 津軽ハムクラブ、オール青森 DX アソシエーション、ご出展いただきました皆様、その他ご協力を頂いた皆様のお陰と深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

本日の支部大会は今では DX QSO には欠かせない F T 8 の運用デモンストレーションや防災グッズの展示など、新しい展示もございます。ぜひお楽しみください。

さて、一般社団法人日本アマチュア無線連盟(JARL)は 1926 年の創立から来年で 100 周年、また再来年には日本初のアマチュア無線局の免許から 100 年を迎えることとなります。しかしながら JARL には多くの課題が課されております。とりわけアマチュア無線家の人口減少が挙げられ、これは青森県だけの課題ではなく全国的な課題となっております。JARL としても 体験運用の制度化や青少年クラブへの会費助成など、これからの時代を担う青少年のアマチュア無線への関心を向けていただくための施策を行って参りましたが、支部としても引き続き会員の皆様とともにこの課題解決に向けて取り組みたいと考えておりますので、ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
会長 森田 耕司 (JA5SUD)

この度は「第53回青森支部大会・ハムの集い」の開催おめでとうございます。

日頃より、日本アマチュア無線連盟の活動ならびにアマチュア無線の発展と支部活動にご尽力いただき、心より御礼申し上げます。

会長就任以来、JARLにとって真の意味での「新時代の到来」となるようなクリーンな事業運営に努めるべく「積極的な活動と情報発信」「組織運営の透明化」を2本の柱として活動をすすめて参りました。

当連盟の事業活動についての情報発信を重点的に推し進めるとともに多くの皆様と交流を深めるべく活動して参りました。

引続き活動をすすめて参りますので皆様のご支援ご協力をお願い致します。

さて、JARLは今年99周年を迎え、来年には100周年を迎えます。再来年にはアマチュア無線100年となり、記念すべき年が続きます。

この機会をアマチュア無線にとって重要な期間と捉え活動をすすめ、皆様におかれましてアマチュア無線を楽しんで頂くとともに新たな仲間を迎えるべく活動し、次の100年に向けて、新たなスタートを切るべく進めて参ります。

最後に、本大会の開催にご尽力いただいた青森県支部の皆さま、そして日頃よりアマチュア無線の発展にご尽力いただいているすべての方々に、心より感謝申し上げます。

本日が皆さまにとって有意義な一日となりますよう、心より祈念いたします。

ご挨拶

一般社団法人日本アマチュア無線連盟
東北地方本部長 梶木澤 稔(JR7JAW)

JARL 青森県支部会員各位、県支部役員、監査指導委員各位、登録クラブ員各位には日頃より東北地方本部のご支援ご協力を頂き誠にありがとうございます。

東北6県各県支部との密接な連携を図り相互理解の下に、組織一丸となって東北地方本部の組織運営に邁進して参ります。

東北ハムフェアを推し進め東北地域の再興、次世代を担う青少年層に電波教室や体験運用の機会を通してアマチュア無線の魅力や楽しさを伝えるなど活性化を図りたく努めて参ります。会員皆さんが末永く会員としてご活躍いただけるように、支部組織を通じて意見を収集し、地方会員皆さんが末永く会員としてご活躍いただけるように、支部組織を通じて意見を収集し、地方の意見をJARLの中央に伝えるなど、会員皆さんの側に立った組織運営に心がけて参ります。

東北地方の会員皆さんの意見を社員総会で申し上げるなど、地方と中央との橋渡し役、地方本部長、として幅広く活動して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

来年こそは

一般社団法人日本アマチュア無線連盟

渡島檜山支部長 佐々木 朗 (JH8CBH)

本日は、JARL 青森県支部大会・ハムの集いの開催、おめでとうございます。日頃より、渡島檜山支部とは、津軽海峡コンテストをはじめ、日常の交信などの交流に、心より御礼申し上げます。

さて、過日の津軽海峡コンテスト・支部対抗の結果につきましては、青森県支部が 97 点、渡島檜山支部が 83 点となり、残念ながら優勝旗に津軽海峡を渡ってもらうことはできませんでした。

渡島檜山支部では、コンテストへの参加を促すポスターを作成し、ログの提出を呼びかけて参りました。その結果、「初めてコンテストというものに参加した」「コンテストログの書き方がやっとわかった」といった声も多く寄せられました。

また、海峡を挟んでの数多くの交信に感動したという局も多く、結果は及ばなかったものの、支部の機運を高める良い機会となりました。

「来年こそは、優勝旗を渡らせよう」と、今から意気込んでおります。青森県支部の皆様におかれましては、来年もぜひ胸を貸していただければ幸いです。

本日この会場にて、コンテストの表彰もあるとうかがっております。ご参加された皆様のご健闘に、心より敬意を表したいと思います。

祝 辞

このたびは、第53回JARL青森県支部大会が盛大に開催されますことを、心からお祝い申し上げます。

県内各地より弘前市へお越しくださいました会員の皆様に心から歓迎を申し上げますとともに、日頃からアマチュア無線技術の向上と会員相互の融和にご尽力されておられますことに深く敬意を表します。

近年、自然災害が頻発・激甚化し、毎年のように集中豪雨等による大規模な水害や、地震による被害が発生しているなか、当市においても、令和4年の大雨災害のほか、昨冬は積雪深が観測史上最高となる160cmを記録する豪雪災害を経験し、日頃から災害の脅威を身近なものと捉え、安全・安心な生活を送れるよう、あらゆる世代の住民が災害に対する意識を高め、地域の方々と連携し、災害に強いまちづくりに取り組んでおります。

大規模な災害が発生した場合、関係機関との連絡や市民の皆様へ必要な情報をお届けするにあたり、通信手段の重層化は大変重要であると認識し、インターネットや携帯電話などの通信技術が急速な発展を遂げている状況であります。災害時に強いとされるアマチュア無線の優位性を再認識し、引き続き皆様と連携強化を図ってまいりたいと考えておりますので、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

当市は、藩政時代以来約400年の歴史を持つ城下町であり、全国の約2割を生産するりんごの産地であるほか、四大まつりをはじめとした四季折々、弘前ならではの自然を満喫できるまつりや、多くの歴史的建造物が点在しているなど、年間を通して数多くの観光客で賑わう魅力ある観光都市であります。

本大会を契機に当市のたくさんの魅力に触れていただき、皆様にとって思い出の多い大会となれば幸いに存じます。

結びに、大会のご成功、日本アマチュア無線連盟青森県支部のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

令和7年9月28日

弘 前 市 長 櫻 田 宏

支部大会プログラム

10:00 受付・各ブース展示開始

12:30 支部大会開会



開会挨拶 JARL 青森県支部長

岡田 竜也(JQ7ATB)

来賓挨拶 弘前市長 櫻田 宏様

JARL 渡島檜山支部長

佐々木 朗(JH8CBH)様



12:45 コンテスト表彰

第23回津軽海峡コンテスト

第19回オール青森コンテスト



13:00 令和6年度事業報告、会計収支報告

令和7年度事業計画、会計収支予算

(13:30 休憩・記念撮影準備)

13:40 記念撮影

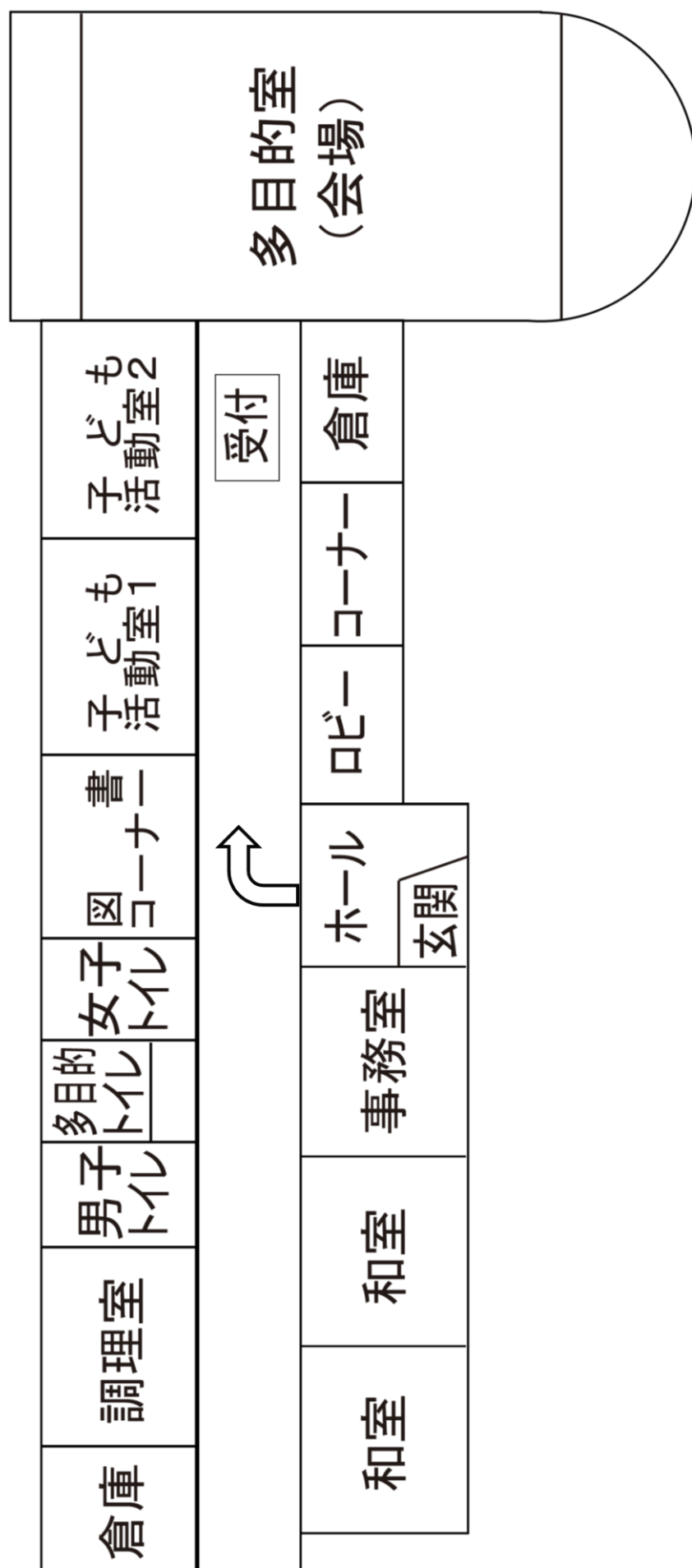
14:15 抽選会

15:50 大会終了・解散

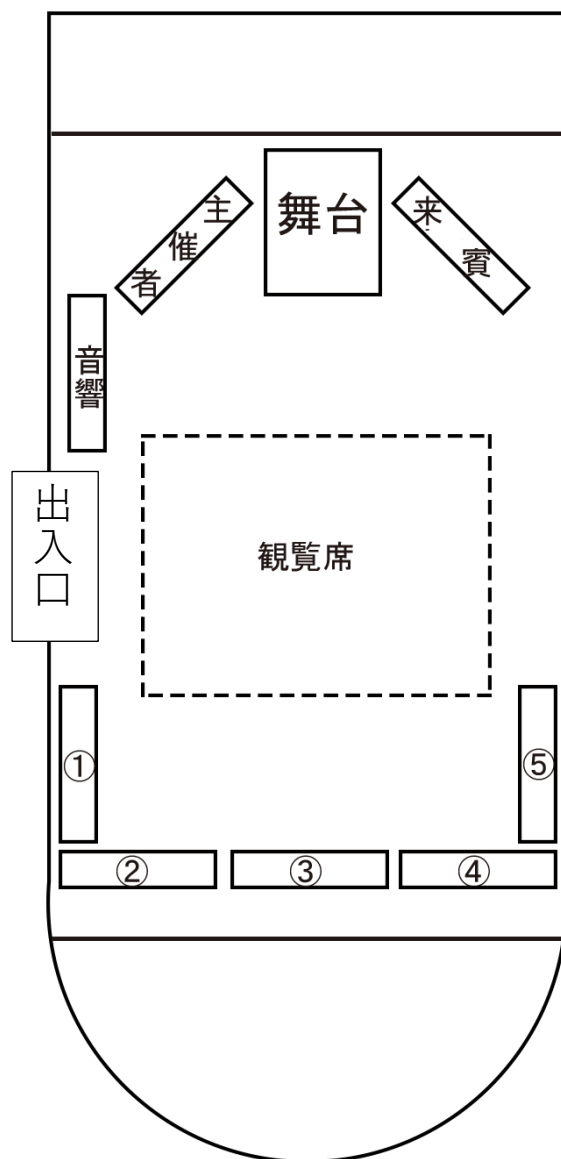


— …… — どなた様もお気をつけてお帰り下さい — …… —

会場案内図



会場配置図（出展者一覧）



- ① 電技パーツ
アマチュア無線機器等の展示
- ② 電波適正利用推進員協議会
電波の適正利用に関するリーフレット等の配布等
- ③ 青森県防災士会
防災グッズの展示
- ④ J A 7 Q P B
ジャンク品の展示、CW 関連の Key やパドルの展示
- ⑤ オール青森 DX アソセッション(AADXA)
新デジタルモード FT8 の公開運用 & なんでも相談会

協 賛

株式会社 電技パーツ

ホームページ <http://www.dengiparts.co.jp/>

本 社 〒030-0113 青森市第二問屋町 3-6-44
TEL:017-739-5656 FAX:017-739-5895

八戸店 〒031-0072 八戸市城下 4-10-3
TEL:0178-43-7034 FAX:0178-45-9108

(アマチュア無線関連機器カタログ、手提げ袋をご提供いただきました)

協 力

JARL 弘前クラブ(JA7YBA)

CQ 津軽ハムクラブ(JH7YZM)

オール DX アソセーション

出展団体（個人）の皆様

「第 53 回 JARL 青森県支部大会 & ハムのつどい」にご協賛・ご協力を賜りこの場を借りて御礼申し上げます。

JARL 青森県支部関係ホームページ

J A R L W e b	https://www.jarl.org/
JARL 東北地方本部	https://www.jarl.com/tohoku/
JARL 青森県支部	https://jarl-aomori.sakura.ne.jp/
JARL 渡島檜山支部	https://ohs.hokkaido.jp/
総務省東北総合通信局	https://www.soumu.go.jp/soutsu/tohoku/
総務省電波利用ポータル	https://www.tele.soumu.go.jp/

表紙イラスト 開催地の弘前市のシンボルである弘前城の桜をイメージした画像を Chat GPT を用いて生成したイラストです。
